

国民健康保険事業特別会計 平成29年度決算の概要

ポイント

◎保険税収入の減・保険給付費の減

- 被保険者数の減少 41,788人（前年度比△2,236人、△5.1%）
- 【歳入】 ・保険税収入の減 △152,137千円（△4.1%）
- 【歳出】 ・保険給付費（歳出の約6割） △521,262千円（△4.5%）

◎一般会計繰入金の減

- 決算額：24億5千万円（前年度：25億5千万円）
- 歳出の保険給付費、後期高齢者支援金及び介護納付金の減に伴い、一般会計繰入を減額し歳入歳出の均衡を図った。

◎医療費適正化に向けた取組

- データヘルス計画に基づく保健事業の実施、第二期データヘルス計画の策定
- 集団健診の実施（28年度から）

◎国保制度改革への対応

- 財政健全化に向けた諸課題の検討、情報システムの改修

基礎データ

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	
被保険者数（年度平均）	41,788人	44,024人	46,033人	
給付	保険給付費（一人当たり）	263,671円	262,119円	252,837円
	医療費（一人当たり）	317,258円	314,052円	305,137円
保険税	現年度調定額（一人当たり）	84,988円	85,161円	78,750円
	徴収率（全体）	81.9%	80.3%	79.2%
	（現年度分）	93.3%	92.7%	92.5%
	（滞納繰越分）	31.2%	27.2%	28.0%
一般会計繰入金	2,450,000千円	2,550,000千円	2,700,000千円	
法定外繰入額（一人当たり）	38,050円	38,060円	40,452円	
基金残高	201,577千円	157,577千円	103,577千円	
特定健診受診率	46.3%	47.1%	46.3%	
特定保健指導実施率	14.4%	18.0%	15.1%	
ジェネリック医薬品普及率	67.8%	65.0%	59.3%	

主な歳入

- 保険税** 152,137千円の減（△4.1%）
 - ・徴収率 81.9%（+1.6ポイント）
- 療養給付費等交付金** 152,853千円の減（△46.1%）
 - ・退職被保険者数の減
- 国庫支出金** 132,287千円の増（+3.4%）
 - ・国庫負担金・補助金の増
- 繰入金** 100,000千円の減（△3.9%）
 - ・一般会計繰入金 24億5千万円（前年度：25億5千万円）
 - ・法定外繰 1,590,048,377円（前年度：1,675,561,270円）△85,512,893円
 - ・一人当たり法定外繰入 38,050円（前年度：38,060円）

主な歳出

- 保険給付費** 521,262千円の減（△4.5%）
被保険者数は減となる一方、一人当たり医療費は引き続き増加傾向
 - ・保険給付費（一人当たり）：263,671円（+0.6%）
 - 後期高齢者支援金** 47,687千円の減（△2.0%）
 - 介護納付金** 12,560千円の減（△1.3%）
- 被保険者数の減の影響を受けた。
- 保健事業費** 80千円の増（0.0%）
 - ・特定健診・特定保健指導
 - ・集団健診 471人（前年度：324人）
 - ・人間ドック利用費補助 654件（前年度：582件）
 - ・糖尿病性腎症重症化予防事業 参加20人
 - ・ジェネリック医薬品差額通知 10,956件（10回）
 - ・受診行動適正化指導事業（重複・頻回受診 訪問指導）30人